

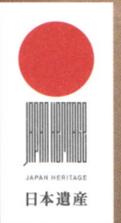
加賀前田家が築き、町民文化の花が開いた

歴史ともものづくりのまち

富山県
高岡市

東京から約3時間。北陸新幹線の開業により、アクセスが至便になった富山県高岡市。路面電車が走る町並みを歩けば、藩政時代から育まれた伝統の技や文化に触れられる。平成27年に「日本遺産」に認定された「歴史ともものづくりのまち」を旅したい。

伝統技術を継承するため制作が進む「平成の御車山」車輪



取材・文・撮影=内田 晃 デザイン=稲葉珠乃
写真協力=高岡市観光交流課、高岡市観光協会、はんぶんこ
このパンフレットは、交通新聞社発行の「旅の手帖」2016年10月号に掲載の記事を抜粋して追加・修正した特別版です。

禁・無断転載 ©交通新聞社

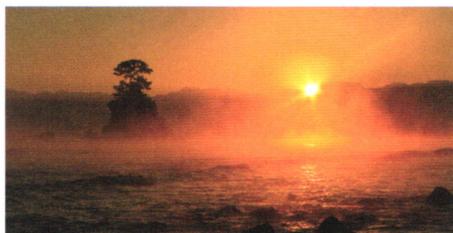
旅の手帖
特別編集版

雄大な立山連峰を一望

あまほらし 雨晴海岸

富山湾越しに標高3000m級の立山連峰が望める景勝地。地名は奥州を目指す源義経一行がこの地で雨が晴れるのを待ったという伝説から。奈良時代の越中国守で歌人の大伴家持もこの絶景を愛し、名歌を残している。

☎0766-44-6200(雨晴観光協会)／富山県高岡市太田／JR氷見線雨晴駅から徒歩5分



上／「国指定名勝」にも選ばれている
左／厳冬期には海上に霧が立ちこめる「気嵐」が発生する

オススメ絶景スポット

立山連峰が浮かぶ富山湾、
宝石箱のような夜景を望める二上山など、雄大な自然も高岡市の魅力。
市街地からひと足のぼしてみよう。

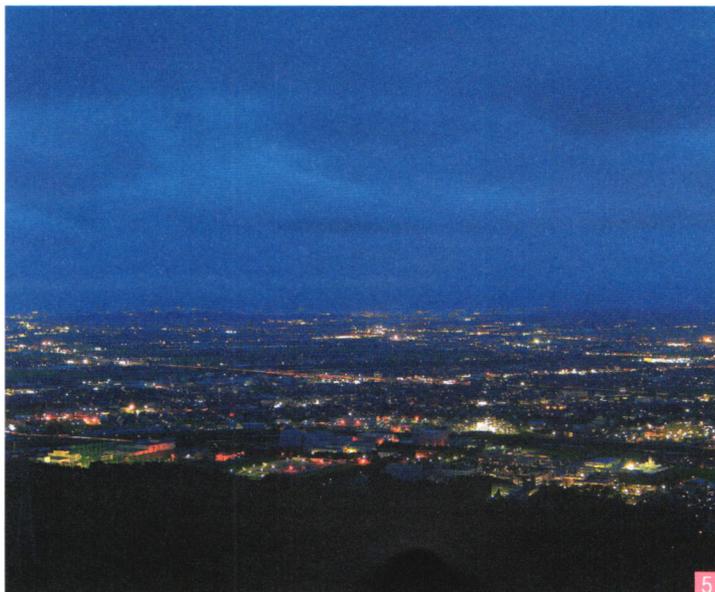
夜景も美しい人気ドライブコース

二上山

標高274m。山肌を東西に縫うように約8kmのドライブコース「二上山万葉ライン」が整備されており、ビュースポットからは立山連峰や能登半島のほか、高岡市街の夜景も望める。

☎0766-20-1301(高岡市観光交流課)／富山県高岡市東海老坂馬鞍／あいの風とやま鉄道高岡駅から車20分

- 1 高岡銅器製の重さ約11tある平和の鐘
- 2 お釈迦様の遺骨を納めた仏舍利塔。高さは約20m
- 3 万葉歌人・大伴家持の銅像。二上山にちなんだ歌も多い
- 4 守山城址で小休止。近くに平和観音が鎮座する
- 5 守山城址の展望台から高岡市街の夜景を望む





赤レンガの建物は富山銀行本店。大正時代に擬ルネサンス様式で建てられた

館内では御車山を通年展示している。写真は木舟町の御車山



施設は山町筋の町並みに溶けこむ土蔵造り風

御車山展示と迫力の映像で祭りを体感

高岡御車山会館

御車山展示のほか、シアターでは高岡御車山祭の様子を紹介。からくり人形を操作したり、お囃子を演奏したりできる体験展示コーナーもある。

● ☎0766・30・2497/9:00~17:00(入館は~16:30)、火曜(祝日の場合は翌平日)休/有料ゾーン300円/富山県高岡市守山町47-1/あいの風とやま鉄道高岡駅から徒歩12分

高岡商人の財力がひと目でわかる やまちょうすじ 山町筋

明治33年(1900)の大火後、再建された土蔵造りの商家が並ぶ。重厚な造りを見ると、高岡商人の財力の大きさがよくわかる。高岡有数の商家「菅野家住宅」、市指定文化財の「高岡市土蔵造りのまち資料館」などが見どころ。

● ☎0766・20・1301(高岡市観光交流課)/富山県高岡市御馬出町・守山町・木舟町周辺/あいの風とやま鉄道高岡駅から徒歩10分

高岡の歴史を肌で感じる 商人町と鑄物師町を歩く

高岡を旅するならば、やはり「高岡古城公園」から始めたい。慶長14年(1609)、加賀前田家2代当主・前田利長がこの地に高岡城を築城したことから、高岡の町は生まれた。高岡城はわずか6年で廃城となるが、城郭の基本構造は残された。明治時代に民間へ払い下げという危機もあったが、地元の声が高岡を動かす親愛の情と、城下町に暮らす住民の誇りが感じられる。高岡古城公園の西側には城下町の面影を残す2つの通りがある。一つは商人町として栄えた「山町筋」で、重厚な土蔵造りの商家やレンガ造りの洋館などが並ぶ。平成27年には「高岡御車山会館」が開館。毎年5月に行われる高岡御車山祭の御車山(山車)が通年見られる。高さは約9m。御所車形式に鉦を立てた造りになっていて、加賀前田家初代当主・前田利家が豊臣秀吉から拝領した御所車を利長が町民に与えたことから始まったと伝えられている。御車山は神が降臨する際の目印とする鉦留、祭壇の花を意味する花傘、神が宿る人形など見どころは多いが、なかでも車輪は目を引く。樺材に黒漆を塗り、打ち出し模様の金具を施した美しさにはため息がこぼれる。もう一つの通りは山町筋から徒歩10



400年前の町割りと町並みが残る

金屋町

高岡銅器発祥の地。当初は日用品や農具が主体だったが、江戸時代中期から梵鐘（釣鐘）や灯籠など銅合金鑄物が造られるようになった。町中には「高岡市鑄物資料館」がある。

☎0766・20・1301（高岡市観光交流課）／富山県高岡市金屋町／あいの風とやま鉄道高岡駅から徒歩20分



右／金屋町沿いを流れる千保川の鳳鳴橋には、黄金の鳳凰像1対が立つ
左／重要伝統的建造物群保存地区では唯一「鑄物師町」として登録された金屋町の家並み

江戸時代の町家で工芸体験 大寺幸八郎商店

万延元年（1860）に創業した高岡銅器の製造卸店。6代目が考案した干支シリーズの置物は愛らしいデザインで人気が高い。江戸時代築の町家は一部をカフェとして公開し、錫のアクセサリ作り体験も行っている。

☎0766・25・1911／9:00～17:00、木曜休／富山県高岡市金屋町6-9／あいの風とやま鉄道高岡駅から徒歩20分



本丸広場に銀鯉尾兜を被った騎乗姿の前田利長像がある



☎0766・20・1563／富山県高岡市古城1-9／あいの風とやま鉄道高岡駅から徒歩15分

緑と水に満ちた市民の憩いの場 高岡古城公園

東京ドーム約4.5倍の広さをもつ城址公園。総面積の3割を占める3つの水濠は、ほぼ築城時のままだという。多くの樹木が茂り、春の桜と秋の紅葉がとくに美しい。本丸跡には五穀豊穰、商売繁盛のご利益があるという「射水神社」が鎮座。



約1800本ある桜の開花期にはライトアップを実施



- 1 アクセサリー作り体験2000円ではペンダント、プレスレットなどが作れる
- 2 金槌を使い錫の鑄物に模様を付ける
- 3 石畳をかたどった「洋風落雁KANAYA」650円は金屋町限定の土産
- 4 風流な庭園を眺めながら抹茶500円（洋風落雁付き）を味わえる

分ほどの「金屋町」。利長が産業振興に7人の鑄物師を呼び寄せた高岡鑄物発祥の地で、石畳の両脇に千本格子の町家が続いている。鑄物工房や販売店ではアクセサリ作り体験などでもできる。このほか、高岡市は高岡昆布飯、高岡コロッケ、和菓子など、名物グルメも多い。寄り道しながら、のんびりと歴史散歩を楽しもう。



ふわりとした口当たりがクセになる鹿の子餅は1箱(6個入り)951円～

雪の立山をイメージした銘菓

鹿の子餅本舗 不破福寿堂

明治22年(1889)の創業時からの看板商品は鹿の子餅。自家製粉した餅粉に卵白を加えており、マシュマロのような食感。中には蜜漬けの金時豆が忍ばせてあり、上品な甘さが口広がる。ひと口サイズの「かのご姫」もある。

☎0766-25-0028/8:30～19:30、月1回不定休/富山県高岡市京田140-1/あいの風とやま鉄道高岡駅から徒歩15分



店内には洋菓子コーナーも併設

手作りコロッケを揚げたてで提供

天狗乃肉 大手町店

名物の高岡コロッケは、北海道産ジャガイモ、牛肉、タマネギを使い、ほんのり甘い味付け。共働き家庭が多い富山県では、夕食の惣菜としてコロッケが重宝されたそうで、消費量は全国トップクラス。

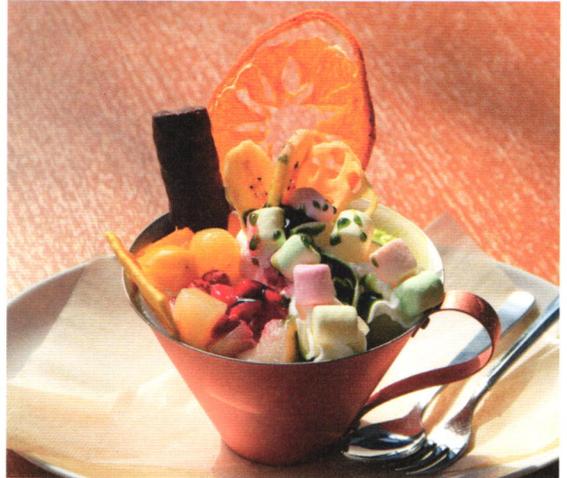
☎0766-25-4129/9:00～18:15(揚げ物は9:30～)、月曜休/富山県高岡市大手町4-16/あいの風とやま鉄道高岡駅から徒歩10分



上/自家製高岡コロッケ1個70円
左/地元へ愛される人気店

名物グルメを味わい尽くす

茶の湯文化が育んだ和菓子、昆布料理やコロッケといったご当地グルメ、新作スイーツ……。食通も大満足の高岡グルメに注目!



御車山をイメージした「御車山パフェ」890円

にぎやかな見た目も楽しい

Café Mimpi 山町店

地の食材を使った料理やスイーツを高岡の伝統工芸品の器で提供。御車山パフェは、銅製カップに2種類のアイスクリームを詰め、車輪に見立てた干しフルーツ、花笠のマシュマロなどをトッピング。

☎0766-26-7123/10:00～16:30、火曜(祝日の場合は翌日)休/富山県高岡市守山町47-1 高岡御車山会館内/あいの風とやま鉄道高岡駅から徒歩12分



【高岡市Memo】

観光の問合せ ●高岡市観光交流課 ☎0766-20-1301
高岡市観光協会 ☎0766-20-1547



とろろ昆布を中華料理で味わう

ビックチャイナ

富山県は昆布の消費量日本一。高岡市では和洋中の飲食店がそれぞれ考案した「高岡昆布飯」が味わえる。この老舗中華店では、2種類の昆布をそれぞれ使った広東麺と半チャーハンのセットを提供。

☎0766-25-5128/11:00～15:00・17:00～21:00、木曜休/富山県高岡市駅南4-2-30/あいの風とやま鉄道高岡駅から徒歩5分

こっそり楽しみたい隠れ家カフェ

和風カフェ次元

京都の老舗「三星園 上林三入本店」が卸す本格的な宇治茶が味わえる。抹茶パフェや抹茶チョコレートフォンデュのほか、かたかごの花や大伴家持の顔が描かれたラテアートなど、遊び心に富んだメニューも。

☎0766-21-7739/9:00～18:00(17:30LO)、月曜(祝日の場合は翌日)休/富山県高岡市末広町14-46/あいの風とやま鉄道高岡駅から徒歩8分



「高岡街ラテグリンティー」の豆乳ラテ480円。絵柄はかたかごの花

玄関から店内へのアプローチ。京都の料亭を思わせる





自由に変形できる
錫商品を開発

シマタニ昇龍工房

海外からも注目を集める「すずがみ」は鍛金職人が錫の板一枚ずつ金槌で叩き、耐久性を高めたもの。金属なのに何度も曲げたり、伸ばしたりでき、食器やインテリアとして使える。

● ☎0766-22-4727/9:00~17:00、土・日曜休/富山県高岡市千石町4-2/あいの風とやま鉄道高岡駅からバス20分の千石上町下車、徒歩1分

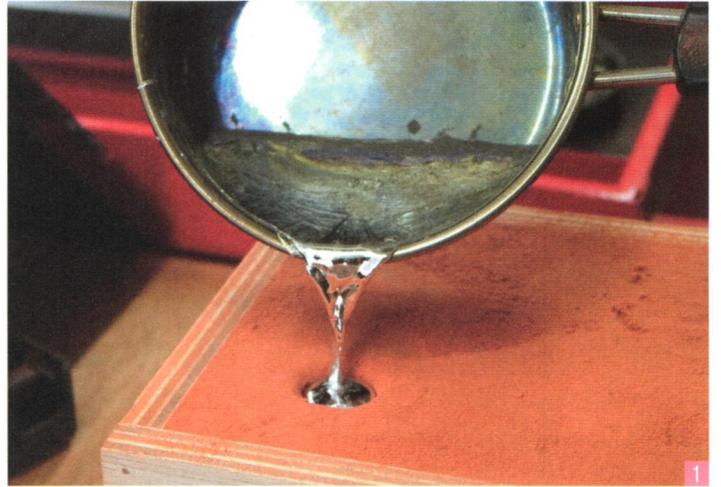
寺院用の仏具を専門に製造してきた鍛金技術が新アイテムを生んだ



「すずがみ」は4サイズで、各3種の模様がある。11cm角2160円～

伝統の手仕事に触れる

伝統工芸の素晴らしさを知るには、自ら体験するのが一番。
簡単に見える作業がいかに難しいかわかり、
作品の見方も変わってくる。



高岡の伝統工芸を体験

はんぶんこ

山町筋の土蔵造り商家を再利用したセレクトショップ。高岡クラフトのほか、全国の職人が手がけた逸品が揃う。事前予約すれば、錫のぐい呑みや、高岡漆器の螺鈿細工などの手作り体験プログラムにも参加できる。

● ☎0766-91-8380/11:00~18:00、火・水曜休/富山県高岡市小馬出町63/あいの風とやま鉄道高岡駅から徒歩15分

- 1 錫のぐい呑み作りは、専用の砂を押し固めた鋳型に溶かした錫を注ぐ
- 2 冷却後、余分な部分を削り、表面を磨けば完成。所要時間は約2時間
- 3 売店のほか、3Dプリンターを備えた工房、図書館もある



伝統工芸の逸品が一堂に

GALLERY MONONO-FU

美術館を思わせる白を基調とした館内で、高岡銅器、高岡漆器、井波彫刻、庄川挽物木地、越中和紙など、富山県西部の伝統工芸品やクラフトを展示・販売する。スタッフが常駐する観光案内所も併設しているので、情報収集にも役立つ。

● ☎0766-30-2626(新高岡駅観光交流センター)/10:00~19:00、無休/富山県高岡市下黒田3012/北陸新幹線新高岡駅直結



右/館内には約200点のアイテムが並ぶ
左/施設名は「ものづくりの系譜」から名付けられた